

久しぶりの晴天に恵まれ、窓からのあたたかい光と、旭川のおだやかな流れを感じながら行われた「コミュニティスペースEN」での『寄物陳思の心』に触れる講座は、和やかな雰囲気です。

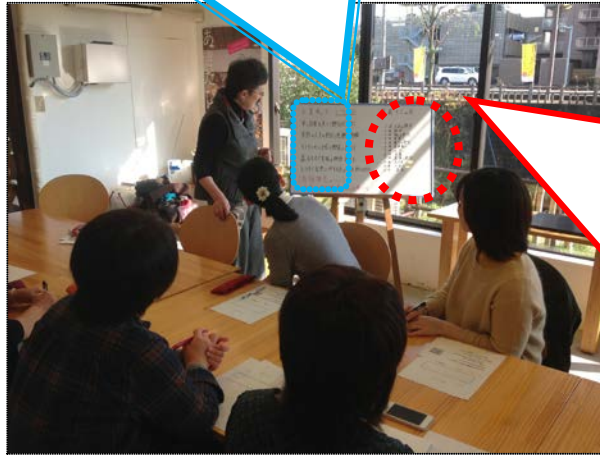
室礼三千 講師 船木正子先生のご指導のもと、参加者 15 名は、お正月の室礼について学びました。感心したり、納得したり・・・、質問も出て、楽しい時間を過ごしました。会場の大町・菓子舗榮太楼さんは日曜が定休日のはず・・・実は、私たちのために営業してくださったのでした。感謝です。

《室礼》しつらひ

単に部屋を美しく飾るのではなく、季節や人生の節目に感謝や祈願、もてなしの心を花や野菜に託して盛るもので先祖や神様自分をとりまく自然に対する礼の心を形にしたもの

寄物陳思の心

自然と関わり物に寄せて思いを陳べる



室礼十二月

- 1月 人日 (1月7日)
- 2月 節分
- 3月 桃の節句
- 4月 花祭り
- 5月 端午の節句
- 6月 嘉祥菓子
- 7月 七夕
- 8月 お盆
- 9月 重陽の節句
- 10月 お月見
- 11月 七五三
- 12月 冬至



10:30 講座 START です。

お正月の「正」の字は「年のはじめの意」というお話から始まりました。

さらに、お正月の盛りものとしてお話があったのは、ゆずり葉、裏白、ごまめ、黒豆、勝ち栗、かぶら(加富良)、柳(屋内喜)、隼人瓜(干成瓜) etc. です。これらの物に寄せる思いについてのお話には、大変奥深いものを感じました。そこで講座の内容から、お・ひ・と・つ!

～三種の神器 (鏡・玉・剣)～

鏡 ⇒ 餅 年神への供物。晴れの食べ物。

玉 ⇒ 橙、代々。回青橙とも呼ぶ。

剣 ⇒ 柿、嘉来。

鏡餅の上には、秋田では「みかん」がお馴染みです。

玉(ぎょく)⇒ 橙(だいたい)のもの

ということで、

『だいたい』には家が「代々」続く、みかんの『ん』には50音のしめ&運にかけて、

【1年のしめと次の年の運】という思いを寄せているそうです。

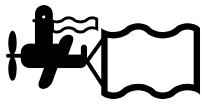
鏡餅に「みかん」って重要ですね。

「ん」が2つで運氣 up!!

「ん&ん」が7種類の運盛

- 南瓜【なんきん】
- 人参【にんじん】
- 銀杏【ぎんなん】
- 寒天【かんでん】
- 饅頭【うんどん】
- 蓮根【れんこん】
- 金柑【きんかん】

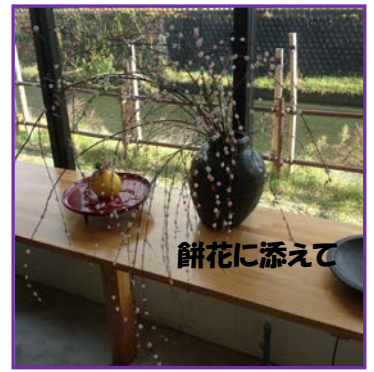
11月某日、船木先生宅の玄関に、「ん&ん」7種類の盛りものを発見!!! 私たちにもできる・・・かな。



続いて、盛りもの実習タイム。

柑橘類は、きつが「吉」で、大きいほど大吉ということで、今回は、神社の鈴に見立てて 『グレープフルーツと紅白紐』による盛りものをしました。

「自由にどうぞ!」ということで、会場は、まるで自由創作のお稽古のようでした。



餅花に添えて



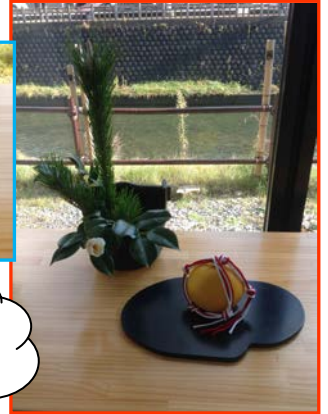
海老風? 紅白紐を別々に



麻ひも 家族の一年の成長願う



松は神様の依代
ここに降臨



発想力豊かな小原流仕込みの技が発揮され、2度目・3度目と盛りものに挑戦する参加者も！船木先生にその積極性を褒めていただきました。

↓グレープフルーツ&紅白紐が勢ぞろいです。鈴なり???



そして最後に、



船木先生が淹れてくださった極上のおいしい「中国茶」と榮太楼さんの「栗金つば」をいただきました。

その美味しさに、会場は
シー——ン

不覚にも、食べるのに夢中で、写真撮影を忘れまして・・・

イメージ図



聞香杯と飲杯

金つば



参加者の感想から

- すごく楽しかったです。興味のあることだったのもありますが、講座を受けて、さらに室礼に興味を持ちました。よいきっかけになりました。お菓子やお茶のおもてなしも大満足でした。終始楽しい時間でした。
- 広く一般に浸透している飾りや意味も、地方又は室礼の盛りもの独特のものも、様々な物に様々な幸福につながるような意味をもたせてあって興味深かったです。お目出度い"芽出し"や、「ん」が重なる"運盛り"、身近な材料で出来るし楽しくて良かったです。今回は「お正月」でしたが、馴染みの薄い「嘉祥菓子」など、他の室礼講座も受けたいと思いました
- とっても楽しかったです。室礼って、和室で正座してやるのかと思ってましたが、あの感じだと、若い人達も参加しやすくて、良かったと思います。

★次回の青年部行事(未定ですが・・・)に積極的な参加をお待ちしております★ (青年部役員一同)